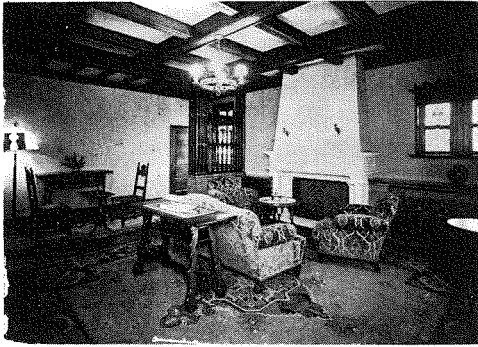
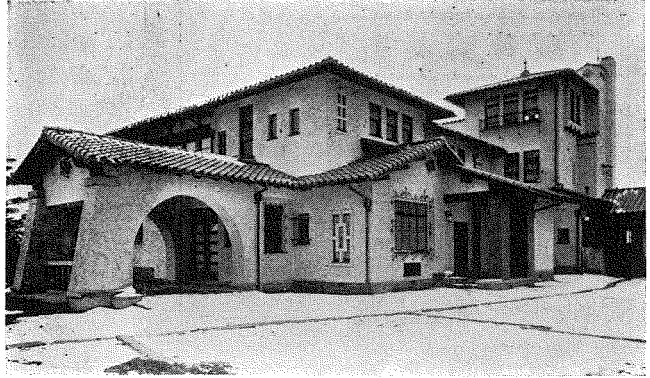


西 原 邸

豊 中 町

設 計 及 施 工
大 林 組



1階93.78坪、2階53.59坪、
3階6.50坪計153.78坪の住宅
外にテラス17.60坪がある。
寫眞上は雪の日の外観、下は
應接室である。

工 事 タ イ ム ス

全通せる國鐵の二線

指宿線 南九州の南端の海岸線に沿ふて走る指宿線50軒173米の建設工事が竣成して3月25日全通した本線は既設鹿兒島本線鹿兒島停車場を起點とし鹿兒島灣を圍む海岸線を経ふて南進南薩に著名なる山川漁港に至る路線で、我國內地鐵道最南端の省線である。また本線は山川——枕崎間省營バスにより私鐵南薩鐵道と連絡して薩摩半島に環狀交通網を構成し産業路線として重要使命を有すると共に、沿線風光明媚にして史蹟名勝に富むので觀光線としても重大なる路線である。昭和3年の起工で、工費總額 290萬圓(1軒當り57.8 0圓)を要した。

西木原線 西木原線木更津驛—上總龜山驛間32.2軒070米3月25日全通した。本線は房總西線木更津驛を起點とし、小櫃川流域に達する線路であつて線路の

最急勾配1000分の30、最小半徑 200米で、其の區間中久來の久留里線には、上總清川、横田、馬來田、小櫃、俵田及久留里の六驛が在り、更に龜山に至る新設線路には平山、上總松丘、上總龜山の三驛が在る。

本線設計工事は大正十五年先づ龜山—久留里間の測量實施に始まり、全線を木更津、久留里間に於ける久留里線改良工事及び久留里—龜山間に於ける新線建設工事の二つに分割して施工せられたものである。もとゞ其の沿線小櫃川の流域は地味肥沃で産業は非常に開け幾多の名邑部落を抱擁し、農林業開け、商賈の往來繁しきにも拘らず、交通機關が極めて振はず爲めに異常な不便を感じてゐた同地方にとつて本線の開通は絶大の福音であつて、地元民歡呼の聲は全沿線に漲つてゐる。